



瀬戸口 郁
(文学座)



有賀ひろみ
(文化座)



脇田康弘
(俳優座)



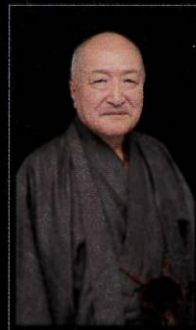
馬場太史
(俳優座)



尾身美詞
(青年座)



山崎美貴
(文学座)



柴田義之
(劇団1980)

作 J・B・プリーストリー 翻訳 内村直也 脚本 八木柊一郎 演出 西川信廣
美術 二村周作 照明 塚本悟 音響 中嶋直勝 衣裳 宮本宣子 作曲 上田亨
舞台監督 泉泰至 演出助手 道場禎一 宣伝写真 飯田研紀 宣伝美術 ミネマツムツミ
企画制作 俳優座劇場

あらすじ
一九四〇年(昭和十五年)の春。娘の婚約者を迎え、一家団欒の夜を過ごす倉持家。そこに影山と名乗る警部が突然訪れる。影山はある女の死を告げ、家族に質問を重ねていく。初めに倉持幸之助。企業の経営者である彼は、かつていわれのない理由で彼女を解雇していた。次に娘の沙千子、婚約者の黒須、母親のゆき、そして息子の浩一郎と……。彼女はなぜ死んだのか?! 疑問を投げかけ影山は去るが、残された家族のドラマはそこから始まるのだった……。

夜の来訪者

AN INSPECTOR CALLS 「インスペクター・コールズ」より

俳優座劇場プロデュース No. 123

…人間はひとりでは、
ひとつの家族だけでは生きていけないのです…
一九四五年ロンドンでの初演以来、世界中で上演されてきた社会派ミステリーの傑作。俳優座劇場では一九九一年から二〇〇六年までの十六年間に、全国で281ステージの上演を重ね、二〇二二年に新キャストで再構築した作品です。
混沌とする世界情勢のなか、一人ひとりの生き方と社会との関わりを鋭く問いかけ、二〇二四年より再び全国公演を開始しました。
ご期待ください！

2026年
1・2月例会

トム・プロジェクト
風を打つ

治らんもんには、慣れるしかない。
ばってん、治せるもんには、慣れる訳にはいか
んのじゃ、わしらは…。生きとし生けるもの
すべてに捧ぐ、ある家族の物語。

出演：音無美紀子・太川陽介 ほか

周南市文化会館
2/9(月) 18:30
2/10(火) 13:00



3・4月例会

無名塾
等伯 一反骨の画聖一

現代の新自由主義は、かつての下剋上の世の
中にも通じている。そうした世に生を享けた、
ひとりの絵師(長谷川等伯)の物語。

サンビームやない
4/5(日) 18:30
周南市文化会館
4/6(月) 18:30
4/7(火) 13:00

